



## 第 33 回企画展

### 『三川合流と淀・大山崎』について

大山崎町歴史資料館 館長  
福島克彦



大山崎町と言えば、天王山と並び、三川合流がイメージされます。桂川、宇治川、木津川という三つの河川が山崎地峡で並走する景観は、日本でも屈指の雄大な風景を呈しています。大

正、昭和期の実業家加賀正太郎が、この風景に魅せられ、大山崎山荘を構築したことは、よく知られています。

ただし、この景観は、あくまでも明治 3 年(1870)頃から昭和 3 年(1928)頃までの淀川改良工事、増補工事による賜物であり、背割堤で各河川が仕切られた様相は、あくまでも人工的な造成でした。幕末以前は、三つの河川が大山崎の上流の淀で合流していました。地峡における土砂の堆積を避けるため、合流地点を下流へと移動したのです。

三川合流と淀川については、当館もこれまで三～四回企画展を実施してきました。今までの展示では前近代の淀川の流れと、前述した三川合流の変遷を一般に紹介してきました。ただ、桂川の流路については、最近発掘調査による新しい知見や史料の確

認によってふたたび議論が活発化しています。そこで、今秋の第 33 回企画展『三川合流と淀・大山崎-淀川と沿岸の歩み』では、改めて淀川を考える材料を提示していきたいと思います。

今回の展示では以下のような文化財を扱います。第一に長岡京市が所蔵されている納所村の 16 世紀の土地売買の文書を展示し、桂川沿いの納所周辺の葭原や「フケ」(湿地)の景観を見ていきます。第二に、最近見つかった「嶋崎庭園絵図」によって、かつての淀藩主の大名庭園の全容を見ていきます。この庭園は、江戸時代前期の木津川付け替え工事に陸地化した木津川跡を利用して拡張されました。代々譜代大名だった淀藩主のもとで、本格的な大名庭園があったことは注目されます。第三に、近世淀川水運の元締め木村家の文書から、淀川水運の変遷や河川の保全を考えてみます。

そして、近世期淀川の変化は大山崎にどのような影響を与えたのでしょうか？たとえば、小泉川の付け替えや堤防築造、船着場や問屋など、多彩な変化がみられました。近世期の淀川河川敷は、さまざまな開発が繰り返された場所だったので

す。今回の企画展を通して、淀川に対する豊かなイメージを深めてもらえたらと思います。

## 9 月～10 月の活動実績

### 1. 主なガイド

- ・ 9 月 20 日(土) 大山崎ミニ探訪「西国街道を歩く」 28 名
- ・ 9 月 20 日(土) デイサービスひだまり(出前ガイド) 31 名
- ・ 9 月 27 日(土) 兵庫県シニアカレッジ「あるこう会」 18 名
- ・ 10 月 2 日(木) 京都府教職員互助組合退職互助部中京支部 20 名
- ・ 10 月 4 日(土)～26 日(日)の土・日 秋の定点ガイド 238 名
- ・ 10 月 25 日(土) 秋の天王山ウォーキング 2025 雨天の為中止
- ・ 10 月 29 日(水) 大山崎小学校 6 年生学習支援 99 名

### 2. 会の行事など

- ・ 9 月 16 日(火) あちこち学習山歩 87「続 山崎合戦・あれこれ」 20 名
- ・ 9 月 26 日(金) 第 11 回ふるさと案内人養成講座 4 講目
- ・ 10 月 16 日(木) 第 11 回ふるさと案内人養成講座 5 講目
- ・ 10 月 21 日(火) あちこち学習山歩 88「太閤道」雨天の為中止

## 活動予定

### 1. 主なガイド予定

- ・ 11 月 30 日(日) までの土・日 秋の定点ガイド 全班
- ・ 11 月 3 日(月・祝) 大山崎ミニ探訪「大山崎の遺跡」 1 班
- ・ 11 月 4・5・7 日(金) 大山崎町役場職員研修ガイド 全班
- ・ 11 月 23 日(日) 円明寺ヶ丘自治会 3 班
- ・ 11 月 26 日(水) 大阪府コミュニティカレッジ 3 班
- ・ 11 月 29 日(土) 大山崎町役場(阪急観光あるき) 4 班
- ・ 12 月 13 日(土) 山崎合戦ウォーキング 全班

### 2. 行事予定

- ・ 11 月 20 日(木) 養成講座 6 講目
- ・ 11 月 25 日(火) あちこち学習山歩 89「八幡山城」
- ・ 12 月 11 日(木) バス研修 関ヶ原古戦場 and 竹中陣屋跡
- ・ 12 月 16 日(火) あちこち学習山歩 90「大和郡山市散策」
- ・ 12 月 25 日(木) 養成講座最終講・閉講式

## 9-10 月 ガイド実績

	一般ガイド		主催ガイド		歴史資料館		出前ガイド		定点ガイド		合 計	
9-10 月	5 件	152 人	1 件	28 人	64 件	159 人	1 件	34 人	54 件	238 人	125 件	611 人
7 年度累計	30 件	362 人	2 件	51 人	199 件	459 人	3 件	79 人	295 件	1020 人	529 件	1,971 人

## 大山崎ミニ探訪「西国街道を歩く」

9月20日(土)第4回大山崎ミニ探訪「西国街道を歩く」を開催しました。西国街道を歩きながら、奈良時代から江戸時代へとタイムスリップして歴史の数々を訪ね、自治都市山崎荘を西国街道との関わりから分析することを目指した企画でした。

西国街道は京都・東寺から九州・大宰府に至る街道のことで、東寺から西宮は山崎道ともいわれています。今回は調子八角から西黒門跡までを歩きました。参加者は28名、OFG会員10名、計38名を6名でガイドしました。

集合場所の西山天王山駅東口で秀吉大返し力水の説明後、調子八角に移動。ここで3つの班に分かれ、時間差で出発し、小泉橋、ねじりまんぼ、百々遺跡、東黒門跡、大山崎町歴史資料館、妙喜庵前、離宮八幡

宮、関大明神、西黒門跡と順に案内しました。蒸し暑い曇天日、参加者とガイドが一つになり、歩きながらタイムスリップを楽しむことができました。

彦根市、堺市、豊中市等からの参加者もあり、年代は小学生から80歳以上と幅広く、OFGホームページや広報誌、会員の勧誘などからの参加でした。皆さんには街道沿いに発展した街並みと名所にふれて、歴史と文化の町、大山崎を体感していただくことができましたようです。その大山崎からの参加は4人でした。

(4班 和泉奈緒美 記)



## ～わたしのふるさと～

私が生まれたのは、日本の標準時の子午線が通る「時の町」、早い潮の流れで育った鯛や蛸など海の幸が豊かな「海峡の町」、そして、ふわとろの卵に包まれたタコを出汁で味わう「玉子焼きの町」…兵庫県明石です。

南に淡路島を望む浜辺の町で子供時代を過ごしました。一年を通じてほぼ温暖で穏やかでしたが、「台風銀座」の地でもありました。当時の楽しみは、駄菓子屋、内緒の買い食い、わらび餅売り、ロバのパン屋…食べることばかりですね。

今の楽しみは列車からの風景。左手に海と淡路島、明石海峡大橋の大景。駅に近づくと右手に天文科学館の大時計、明石城の壮大な石垣とお堀が眼の前に…そしてやっぱり「明石焼き」。



(3班 市原寛之 記)

私は広島県福山市を中心に生まれ育ち、近隣を何度も転居しています。就職後は東京以西宮崎までの各地で勤務し、最終的に乙訓の地にたどり着きました。

振り返ると、中学生の頃居た因島(3班のSさんの故郷でもある)が特に思い出深く、あの友ともう一度あの海岸で釣りをしたい、泳ぎたいと時折思い返します。

赴任の際には、いつも山川出版社の「〇〇県の歴史散歩」を買って、どこか見物に行く良い所はないかと探していました。現在近隣の府県のものも入れると10冊を超えています。その地を知れば知るほど愛着が出てきて、地元の方とも話が弾み、結果として転勤も楽しくなります。本会に入会したのもこの延長線にある気がします。

結局、私には沢山のふるさとがあることに改めて気づかされました。多くの仲間たちと楽しく愉快地過ごせた場所が「私のふるさと」だと感じています。勿論大山崎も私の故郷の一つになります。

(4班 前原利生 記)

## ～鏡田おしゃべり会 出前ガイド～

8月6日(水)9時半から鏡田集会所にて「鏡田おしゃべり会」で出前ガイドを開催しました。真夏で屋外活動休止中でしたが、室内と言うことでお受けしました。

この鏡田集会所はご自分達が不動産業者と掛け合っで作られたそうです。素晴らしいですね。将来、ご近所さんと希薄になりつつある環境を見越しての「集会所」建設だったのでしょうか!歴史ある大山崎に相応しいと感動しました。ご近所付き合いは「防犯」や「少年補導」のためにも必要だと思っています。

定期的に来たい人が集まり、お喋りに花を咲かせることは人生100年時代にも相応しいです。ご近所の方々が気楽に集まる場所「おしゃべり会」は毎月開催されてるようです。楽しそうですね。

閑話休題、当日の演目は「聖天さんとどろぼう」「天王山のカエル」「きつねの渡しと淀川の三渡し」「山崎の合戦」の4つでしたが、1日だけの練習にもかかわらず皆さん気合が入って5名は役どころにハマってました。時間に余裕がありましたので、池内会長のかくし芸「相撲実況声帯模写」をおこなったところ大変ウケました。

狭い会場でしたが、冷房がよく効いていました。お子様を含め13人来いただき、和気あいあいと終始和やかに演じる事が出来ました。最後に「楽しかったよ」とのお褒めの言葉もいただきました。出前ガイドはOFGの看板にしたいほどです。次回はまた、冬にでも!とお約束して帰りました。

(1班 皆本芳子 記)